



青年会で山内さんと田村さんの感謝祭をしました。
 昼は、木がらしのお弁当を作って楽しい
 ワークショップで食って、プレゼントを
 しました。木がらしさんにもお親しいの
 気持ちで、お礼のメッセージをみんな
 プレゼントしました。 渡邊あや



題字 渡邊あや

おひさま
 通信
 No. 341

2018年 6月号
 社会福祉法人みぬま福祉会
 川口太陽の家・アトリエ輪

川口太陽の家

〒333-0831 川口市木曾呂 1 3 7 4
 kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-294-0955 FAX 048-294-4458

アトリエ輪

〒333-0831 川口市木曾呂 8 9 - 4

TEL 048-299-9156 FAX 048-299-9157

川口太陽の家・工房「集」

〒333-0831 川口市木曾呂 1 4 4 5
 kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-290-7355 FAX 048-290-7356

http://kobo-syu.com
オレンジホーム

〒333-0831 川口市木曾呂 2 4 9 - 1

TEL 048-298-1796 FAX 048-298-1796

各事業所の詳しい様子はみぬま福祉会公式ホームページをご覧ください。
<http://minuma-hukushikai.com>



青年隊感謝祭

5月31日(木)に、青年隊メンバーでグリーンセンターにお弁当を食べに行きました。その名も、

『青年隊感謝祭』！ネーミングも仲間たちと一緒に考えました。始まりは昨年度末の青年隊の中で、話し合いの楽しさや大切さを再確認するために小グループに分かれて「お弁当のおかず」について話し合ったことです。決まったおかずは、①唐揚げ(お弁当の定番だから)、②ほうれん草のソテー(肉ばかりになりそうだから)、③麻婆豆腐(中華は仲間みんな好きだから)、④しゅうまい(他のチームが選ばなそうだから、お弁当に入れるやすいから)の4つ。どのグループも多数決やジャンケンでは決まらず、他の人たちのことを思いながらおかずを決めました。話しやすい少人数で、ワクワクするお弁当のおかずについて話すことで、青年隊パワーが発揮された話し合い

になりました。「お弁当をどこで食べるか」「お弁当の他にもうひとつ何を持っていくか」についても話し合い、青年隊特製お弁当とチョコレートケーキをグリーンセンターで食べるという内容になりました。

この青年隊感謝祭はただお弁当を食べるだけではなく、「みんなが話し合っただけ決めたことをきちんと実現すること」「長年青年隊をやってきた山内さんと園部さんに感謝を伝えること」をいう2つの大切な目的がありました。当日はもう一度この目的を確認した後、お弁当とケーキを受け取りに行くチームと会場準備チームに分かれて始まりました。グリーンセンターの原っぱに大きいブルーシートを広げると、思わずゴロンと横になる仲間もいて、とても気持ち良かったです。お弁当は、木ぐらしさんの手作り！どのおかずも本当に美味しくて、仲間も職員も感激しながらいただきました。みんなの思いが詰まったお弁当は格別です！お腹が満たされた後は、仲

間・職員ひとりひとりから山内さんと園部さんに感謝の気持ちを伝え、色紙とお花をプレゼントしました。みんな淋しく思いながらも、「これからの青年隊は自分たちに任せて！」という頼もしい姿を見せてくれました。最後は山内さんと園部さんから歌のプレゼント。

この日一番の大盛り上がりで、アンコールにもばっちり応えてくれる、さすが青年隊ベテランの2人でした！

自分たちが話し合ったことが実現する楽しさや喜びを感じることで、新たな青年隊の始まりのパワーになったかと思えます。仲間たちに支えてもらいながら、これからの青年隊と一緒に作り上げていこうと思います！！(矢野)



暮らしの場 仲間部会
活動報告



来る6月6日(水)交流センターにて『後援会総会』が行なわれ、仲間部会の皆で参加し発表して来ました。時間の関係で、それぞれの発言がカットされてしまった仲間もいて、緊張して当日を迎えたのに、とても残念そうでした。しかし会場に向かう車内の中で、皆で練習していた最後の掛け声はバッチリ決まったので、終わりよければ。でした。

そして20日(水)には、新しい暮らしの場の設計をして下さっている近藤晃史氏のお話をききました。大きな図面を貼りだし、見て分かりやすい様に3D映像で、実際にその場を歩いているような感じで見る事が出来、皆真剣に関心深そうに見ている姿が印象的でした。近藤氏より「これからいろいろな事を決めていく事になるので、仲間部会の皆さんの力を借りて、皆にとって暮らしやすい場所をつくっていきたい」と言われ、大きな声で返事をしていました。しかし、もしかしてこの日1番の盛り上がりを見せたのは、近藤氏への質問タイムだったかもしれません。

この日の午後は、近藤氏と仲間部会の代表(納田さん・高谷さん・田中けさん・山内)で都内にあるニトリに、机や椅子などを視察する日でした。里の仲間部会のメンバーと近藤氏とも本体で一緒に給食を食べました。その時！近藤氏の隣の席をすかさずキープした納田さん、いきなり「近藤さんってイケメンなんかも！嬉しくなっちゃう！」とボディタッチ！！ニトリに到着し、車を降りてすぐ近藤氏の腕を組み相合傘！！それを見た高谷さんが「すごいなあ、納田さん」と苦笑い。しかしいざ視察となると、みんな真剣で納田さんも高谷さんも色々な椅子に座って感想を言ったり、皆と少し離れた場所で机を触って歩く田中さん。やはり実際に見て触れるという事は、わかりやすくイメージしやすいので、このような機会を、今後も仲間部会で持っていきたいと改めて感じました。(山内)

陽だまりの中より……

～今月の各班の想い～

じゅうに

今月は愛知県の美術館からニギリの注文がありました。それをじゅうに班の金子さん、石井さん（石井さんはご家族からも）、阿久津さんに伝えました。みんな俄然やる気スイッチが入ったのか、ニギリをいつもよりも多め?!に制作しているように感じました。

他にも、前田さんの絵がスターボックスに飾られることや、黒川さんの絵が別所沼会館に飾られることや、岡田さんの新しいポストカード絵画のファンレターセットが作られることが決まりました。みんな頑張ってます！（大川）



サンだいち

大きな窓はサンだいち班の自慢のひとつです。空は東から南につながって、とても気持ちの良い景色です。今はツバメが飛び交うのが見られます。しかし、真夏はガンガンの日差し。そこで今年も朝顔やカボチャをご近所の苗屋さんで買ってきて植えました。しっかり育ってグリーンカーテンになってくれればと水やりをしています。その他にもイチゴやトマトも実のり、オシロイバナも満開です。ボランティアの大田さんのご協力もあり、次第ににぎやかな裏庭になってきました。この夏も仲間たちが涼やかに過ごせますように！（森田）



めーべ

今年も目白大学の理学療法学科の織りの講師に行ってきました。講師を勤めてくれた納田さんが感想を書いてくれました。

目白大学の時、学生たちの面白い織りをいっぱい見れました。フェルトが中に入っていて、玉ころがボコボコ出ておもしろかった。あと、色合いも良かったかなと思います。

いろんな大学生の織り方を見て良かったかなと思いました。

大学生もいろいろやったこと忘れないで、もっとたくさんおもしろい

こととして、学び合ってこれからも頑張ってもらいたいです。終わってしまったて少し寂しいです…。（納田）



あおぞら

思い思いに過ごす昼休み。オセロなどで過ごすことも多かったあおぞら班ですが、6月より「黒ひげ危機一髪」が入りました。ルールも簡単で、ジャンボタルの穴へ一人ずつ順番にさしていきます。不安そうな顔の仲間や笑顔な仲間、興奮気味な仲間などなど楽しみ方も多種多様。「やってみようかな？」と、他の班の仲間が参加することも。「黒ひげ危機一髪」、アタリが出て「オオー！！」っと盛り上がります。参加者どしどし募集中なので、是非あおぞら班に遊びにきてください！（渡辺め）



きらっと

先日、栃木県、那珂川町にある「もうひとつの美術館」の作品展覧学に行ってきました。ほぼ丸一日という行程でした。私も初めて訪れましたが、小学校の廃校を改築して教室を展示室にしたり、木造廊下を歩いているとどこか別世界に来てしまったような感覚の美術館でした。そんな美術館に仲間の作品が数々展示されていると普段日中の作品を見ているものとは違う醍醐味が漂う物を感じました。きらっと班からは大内さん、鶴岡さん、野口さん、成宮さんの作品が代表で展示されておりました。また次の機会も違う場所で作品が展示されることを楽しみにしております。（沖山）



青年隊

6がつ26にち。青年隊かんしゃさいのおべんとうのおれいをしに、木ぐらしにいきました。おべんとうのおかず4しゆるいのチームのだいひょうしゃ4めいで、みんなでかいたメッセージボードをわたしました。とてもよろこんでもらえました。ありがとうございました。（しょくいん おがわ）



オレンジホーム

先日ホームで仲間とTVを見ていると日本ダービーのCMが、それを見た三羽さんが、「高橋さん一緒にいかない？」最初は冗談かと思いきやどうやら本気。普段自らどこかへ行きたいと言わない彼の希望ならと予定を決め行くことに。そして翌週、電車に揺られて彼と2人で東京競馬場へ。馬好きで大学卒業後に関連施設で厩務員として働いていた事がある自分にとっては何度も行き慣れた場所。しかし仲間と一緒に初めて、長い坂道、階段状のスタンドのベンチ・・・足が不自由な彼には難しい場所もいくつかありバリアフリーの整った大施設でも意外に不便な箇所があったりするんだな、今まで思った事もない事に気付かされました。それでも当の本人は人生初めての競馬観戦が楽しかったらしく興奮気味、そして「また行きたいな」と一言。今度は馬肥ゆる秋競馬の頃かな（高橋晃一）

授産報告（6月）

<収入>

種目	金額	摘要
ウエス	12,250	
織り	0	
絵画	24,490	
詩	0	
古本・古着	100	
粘土製品	6,000	
ステンドグラス	12,000	
ダンボール作品	0	
和紙・木工	0	
牛乳パック	10,800	
その他	0	
給与の為、通帳から の繰入	0	
前月からの繰入	376,234	
合計	441,874	

<支出>

項目	金額	摘要
賃金	230,100	
賞与	0	
材料費	47,155	
経費	0	
その他	0	
通帳への繰入	164,619	
作品展準備金	0	
合計	441,874	

～今月の新作～



Untitled

吉野孝紀（めーべ）

6月 予定表

		施設	法人・後援会・暮らしの場			施設	法人・後援会・暮らしの場
1	金			16	土	休み	
2	土	休み		17	日		
3	日			18	月		
4	月			19	火		東浦和駅頭募金、法人事務会議
5	火			20	水		
6	水		後援会総会	21	木		後援会役員会
7	木		施設運営担当者会議	22	金		
8	金			23	土	休み	
9	土	クラブ(半日)	理事会	24	日		評議員会
10	日			25	月	工房集運営会議	
11	月			26	火		
12	火			27	水		
13	水			28	木	家族会	
14	木	家族会役員会		29	金		新人職員研修
15	金	業務責任者会議		30	土	職員会議(仲間休み)	↓

施設長より

5月月末と6月初めに「サンだいち班」の仲間、職員と一緒に「もうひとつの美術館」に行きました。数年前まで私が所属しており、毎日一緒にウエスを作ってパックを回収していた班です。とても久しぶりに同じ時間を過ごしました。「無事に一日終わるだろうか？」という不安から始まり「思ったよりも穏やかに過ごせた」という安堵の感想まで、私がいた頃から変わりません。一見すると何も変わっていないように見えてしまいますが、実は確実に変わっています。

私がいた頃とは仲間や職員の顔ぶれも人数も働く場所も変わっています。身の回りに変化が起きることはちょっと苦手な「サ

ンだいち」の仲間たちですが、その変化をその時に近くにいる仲間と職員とみんなで乗り越えてきました。ひとつ乗り越えるたびに「乗り越えた！」という経験をします。その経験の積み重ねが何重にも「層」になっています。一緒にいる時は一緒に乗り越えているから、実感はあまりありませんでした。しかし、今回はその「層」を垣間見る事ができました。長年「サンだいち」の仲間と付き合いってきたからこそ見えるものだと思います。貴重な経験をさせていただきました。

(オレンジホーム 野崎)

～後援会からのお知らせ～

6月25日に川口市障害福祉課より新しい暮らしの場へ向け、国庫協議の内示が出ましたとの一報が入りました！！

<暮らしの場全体会の開催>

日程：7月18日(水) 11:00～13:00

場所：川口太陽の家・作業室

【今後の予定】

・三役会	7/2	川口太陽の家	10:30～
・役員会	8/1	交流センター	10:30～
・広報部(企画)	8/2	川口太陽の家	10:30～
・カフェ	7/9	川口太陽の家	13:00～

インフォメーション

○シネマ・チュブキ・タバタ(映画館)

・上映映画のチラシに6月は柴田鋭一さんの作品を使用。
7月は田中悠紀さんの作品を使用。

○「工房集グッズ展」

会期：7月24日～8月12日(夏季休暇7/30～8/2)

会場：温々ギャラリー(さいたま市見沼区)

・ステンドグラスを中心に展示予定

○第12回ベストプレイス ダンスパフォーマンス

「境界をとかす人」

日時 7/15 会場 17:00 開演 17:30

会場 彩の国さいたま芸術劇場小ホール

チケット 1500円

色鉛筆(^・^)

梅雨と言えば紫陽花がとても綺麗な時期です。

晴れた日はもちろん雨に濡れた紫陽花はとても綺麗なもので、雨が降る中幸手権現堂あじさい祭りへ出掛けました。雨が降っているのが人が少ないかと思ったけれど想像以上に人がいました。色々な種類の紫陽花を見る事が出来ました。

満開には少し早かったけれど沢山写真を撮り、最近始めたインスタに投稿しました。今年はもう梅雨明けしましたが、近い方は行って見て下さい。(厨房：沼)

この間、家族で富士山を見に行ってきました。その前にも何度か見に行きましたが、曇りが多く綺麗な富士山が見られず残念。今回、天気は良好大きな富士山が目の前に！やったと思いきや、残念……。頭の部分だけ見えてあとは厚い雲で覆われているではありませんか！

残念がってても仕方がないので、目的地「鳴沢氷穴」に行き洞窟体験を満喫。氷の氷柱があり、氷点下。「さむい、さむい」と言いながらその氷を触って喜んでいる娘たち。ちょっとした冒険家になったようです。その後、まだ時間があつたので、「しのびの里」と言う忍者体験ができるところに行き、「ニンニン」と忍者の衣装を着て走り出す娘たち。からくり屋敷で迷う楽しさ、忍者ショーでは、舞台上上がる人に指名され吹き矢で風船を割る体験をし、忍者のお兄さんから手裏剣をプレゼントされ大喜び。そして、富士山がきれいな夕日とコラボし、最後の最後に富士山が顔を出してくれました。とても楽しい一日になりました。(きらっと：赤羽)

数か月前、「サプール」と呼ばれる方々を撮った写真展を見て来ました。彼らはアフリカのコンゴで生活をしていて月給は300ドル程度。その何倍ものお金をつぎ込み高級ブランドのスーツに身を包みます。そして、紳士としての教養と強い倫理観を持ち、精神的に豊かであることが何よりも大切な事と考えています。彼らは今、世界一おしゃれな集団として注目を集めているそうです。

私が心を奪われたのは、彼らのファッションセンスは勿論の事、内戦の絶えない地域で、武器ではなくファッションを選び、何よりも平和を願って生活している姿でした。3日程で内戦が終わるだろうと思い、庭に穴を掘って大切な洋服を埋めたら、実際に戻れたのは1年以上経ってから…洋服はボロボロになっていたそうです。それでも彼らは今もサプールの伝統を守り続けています。

日本よりも生活環境は劣悪なはずなのに、彼らは誇りを持ち、何よりも豊かに生活している様子が伝わってきました。「豊かさ」とは何なのか考えさせられました。

(サンだいち：津畑)

こんにちは！オレンジホームの早川です。

お天気が安定していなくて、地震の不安があるこの頃ですが、如何お過ごしでしょうか。

私も今年から、御朱印集めを始めました。以前より神社やお寺は好きでしたが、まさか、自分が御朱印集めをするとは、思っていませんでした。趣味を通じて、友人も増え、その中の一人と意気投合し、京都に数泊してきました。いつもは何となく仏教美術を鑑賞したり、名産品を食したりでしたが、目的を持って旅したことは、修学旅行以来でしたが、とても充実しており、楽しい数日間でした。次回は同行する人数が増えてもっと賑やかな旅になると思います。

(オレンジホーム：早川)